

高松商工会議所
令和2年度事業計画書



今も昔もこれからも

高松商工会議所

基本方針

地域の現状

地域経済には様々なリスクが顕在化

昨今、中小企業は、内外の環境変化に対応を迫られている。

人口構造や働き方が変わりつつある中、人手不足が喫緊の問題となっており、中小企業の多くが企業存続の危機に面しているといつて過言でない。

また、グローバル化が進んだ昨今、遠く離れた地で発生した小さなインシデントでさえ、地方経済に大きなアクシデントを生むリスクをはらんでいる。

例えば、多発・激甚化している豪雨・巨大地震などの自然災害や、昨年末に発生した新型コロナウイルスなどだ。

潜在的な商機も

グローバル化はリスクをもたらした。

その一方で、域外からの消費を取り込むチャンスを運んできた。

距離の概念は大きく変わり、ヒト・モノ・カネが集まる機会が身近になった。

インバウンド市場の高まりに加え、今後開催が決まっている「2025年大阪・関西万博」などの世界規模のイベントは、大きな経済効果を生むだろう。

課題

このような中、中小企業は、

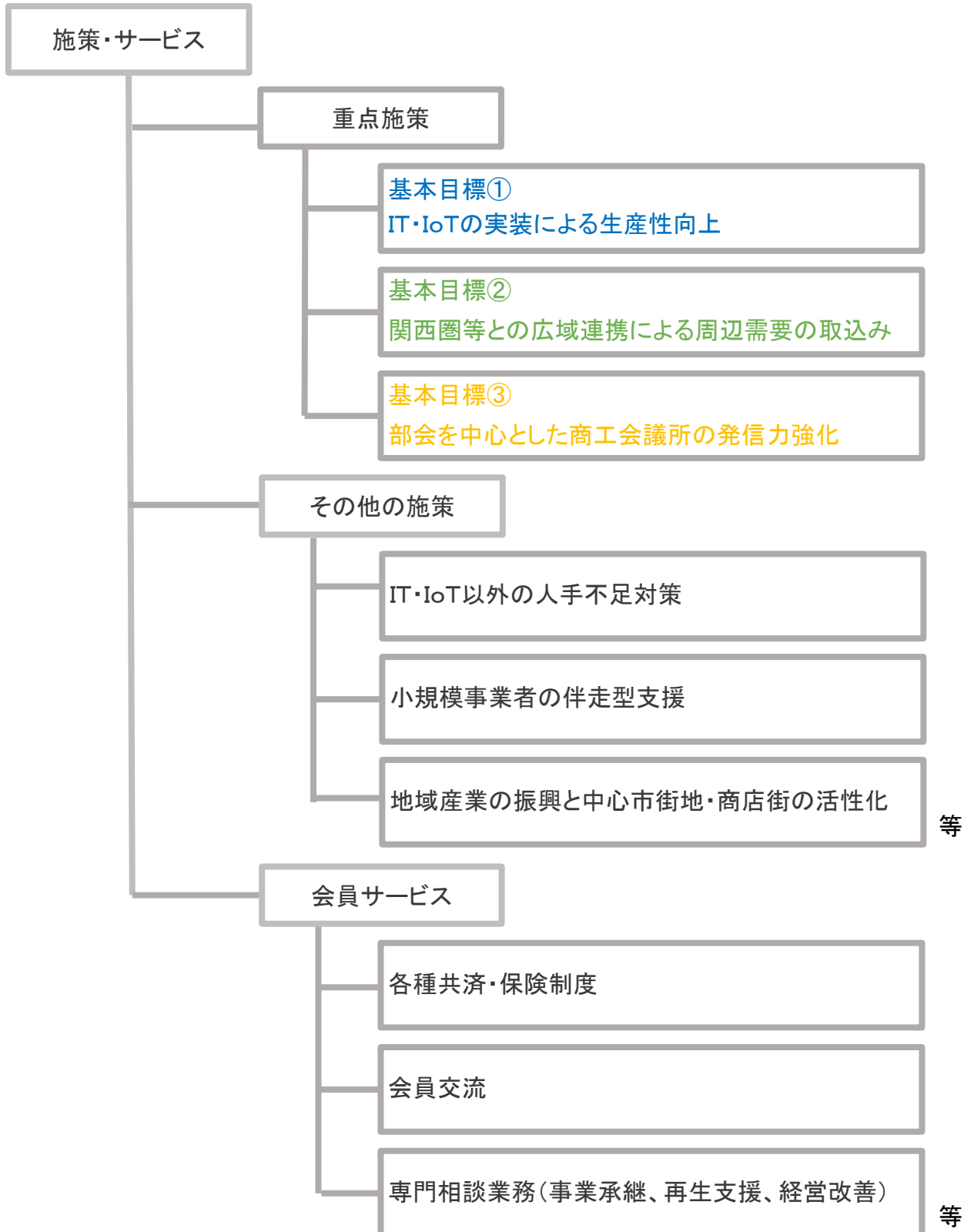
人手不足や想定外の出来事といった

経営環境の変化に柔軟に対応し、

事業の維持・発展のために、

新たな商圏に対する受入・発信体制を整えていく必要がある。

そして、本会議所は、その課題解決に向け支援基盤を強固なものとせねばならない。

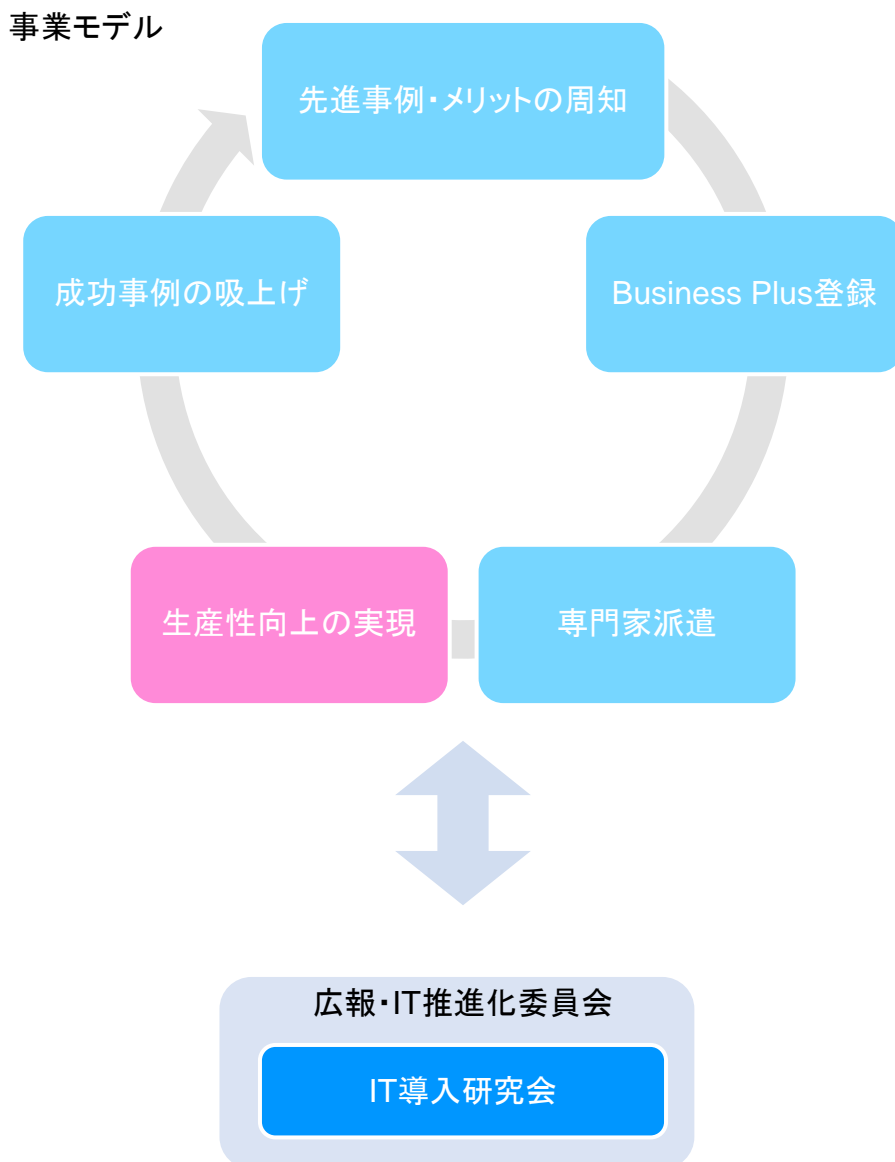


基本目標① IT・IoTの実装による生産性向上

総事業額: 10,000千円

生産年齢人口が減少する今、地方の中小企業にとって、十分な働き手を確保することは簡単ではない。不足する労働力を補完するためには、生産性を高めることが重要だ。

そこで、本会議所では、管内事業所のIT(IoT, AI, クラウド)の実装と活用のための支援を行い、会員事業所の人手不足感の解消を図る。



Business Plus/エキスパートバンクを活用した導入支援 予算額6,350千円(前年1,080千円)

- 個社の経営課題を把握し、最適な専門家を事業所に仲介・紹介する

【Business Plus】

事業所が「悩み」を、専門家が「支援策」を登録し、両者をつなぐマッチングサイト

【エキスパートバンク】

専門家を派遣し、初期相談に係る費用を本会議所の負担で実施する

専門家:(特非)ITC香川、高松商工会議所エキスパートバンク登録者

- 先進導入事例や導入メリットの普及に向けた広報活動を行う

IT・IoT導入事例の集積 予算額1,000千円(前年0千円)

- IT導入研究会を立ち上げ、導入先進事例の集積と分析を行う

【IT導入研究会】

広報IT推進化委員会の委員と外部専門家で構成されるITに特化したプロジェクトチーム

高松商工会議所IT導入支援体制の強化 予算額2,650千円(前年0千円)

- 事務局のIT化を進め、本会議所をIT導入のモデル事例とする
- 職員のIT相談能力を向上させる

指標名	現状(平成30年度)	令和2年度目標値
Business Plusの企業登録件数	-	100事業所
Business PlusのIT専門家登録件数	-	50人
Business Plus登録企業の経営課題の把握	-	100件
Business Plus登録IT専門家の支援領域の把握	-	1式
Business Plusのマッチング件数	-	10件
専門家による出張相談件数	5件	100件
IT導入研究会の立ち上げ	-	1件
IT導入メリットの周知と広報効果測定	-	指標を別途定める
商工会議所のIT導入	-	着手

重点施策

基本目標② 関西圏等との広域連携による域外需要の取込み

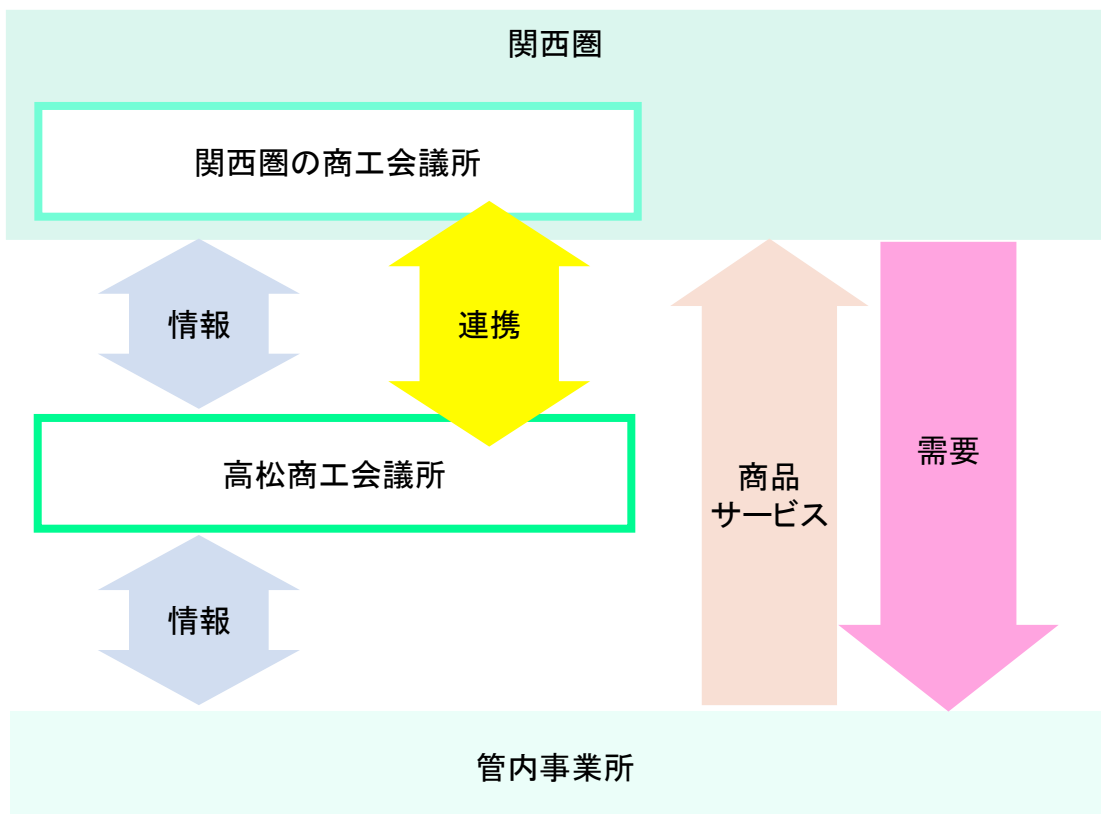
総事業額: 4,500千円

今最も注目すべき市場の一つは、インバウンド市場である。

特に、関西圏では「ワールドマスターズゲームズ2021関西」、「2025年大阪・関西万博」の開催が予定されており、今後も好材料が続く。

そこで、本会議所は、関西を軸に新しい商圈の情報収集を図り、需要を取り込むための仕組みづくりを行う。

事業イメージ



2020-2025関西圏の新需要に係る調査研究

予算額1,000千円(前年0千円)

- 今後の商機を見据え、関西の市場調査を行う
 - i) 関西圏へアピールしたい商材・サービスを募集し、媒体化する
 - ii) 「2025年大阪・関西万博」での上記商材・サービスの販路候補を調査する
 - iii) 販路候補先への情報発信を行う

関西市場での販路開拓

予算額1,000千円(前年0千円)

- 関西圏の商工会議所と連携し、高松発の製商品・サービスの商談の場をつくる
- 商品開発の専門家を活用し、関西圏をターゲットとする新商品の開発支援を行う

観光商品の造成

予算額2,500千円(前年800千円)

オーバーツーリズムとなる関西から観光客を誘致するために

- 着地型かつ体験型の観光コンテンツの質を高め、情報発信する

【DISCOVER SANUKI】

平成30年度に構築した体験型観光を紹介・予約するサイト

令和2年度は、県・市・とタイアップし、掲載コンテンツの拡充と情報発信を行う

指標名	現状(平成30年度)	令和2年度目標値
商機に繋がる情報の入手	-	1式
関西圏へアピールする商材の募集	-	30商品
関西圏への情報発信	-	別途指標を定める
関西の商工会議所との連携	-	3会議所
販路開拓件数	-	5件
FAMツアー等	2	4
掲載体験コンテンツ増加数	0	15
高松の観光情報の発信	-	別途指標を定める

重点施策

基本目標③ 部会を中心とした商工会議所の発信力強化

総事業額: 14,200千円

本会議所は、地域の課題解決のための旗振り役である。

会員事業所に的確に情報を発信し、部会・委員会から業界の声を吸い上げ、管内事業所の事業活動に資する施策を行っていく。

そのためには、本会議所自身が、IT化による生産性向上を実現し、主体となって関西圏の会議所や事業所等との強固なネットワークをつくり、支援基盤を整える必要がある。

部会・委員会活動の活性化

予算額5,000千円(前年:3,000千円)

- 部会・委員会間の連携強化

例: 部会間の意見交換会/協議会の開催

- 意見活動の強化

例1: 四国商工会議所連合会の要望事項として行政に提言

例2: 「コンパクト・プラス・ネットワーク」の街づくりのための提言

【コンパクト・プラス・ネットワーク】

地域の活力を維持と生活機能を確保のため、地域公共交通と連携して、商工業者や観光客にとって利便性の高いコンパクトなまちづくりを行うもの

情報発信の強化

予算額6,200千円(前年:0千円)

- 事業/支援内容の施策普及

例: 会報誌の活用方法の見直し、施策パンフレット「あらかると」の拡充、HP掲載内容の精査

- 会員サービスの拡充

例: 会員企業従業員の功労表彰の拡充、定期健康診断開催等の情報発信

経営基盤の強化支援

予算額3,000千円(前年:0千円)

- 各種機関と連携したBCP/SDGs策定支援

【BCP】

緊急事態が発生したときに、事業の継続や復旧を図るための計画。

高松市と「事業継続力強化支援計画」を共同策定し、5年間で総合的な支援を行う

【SDGs】

持続可能でよりよい世界を目指す国際目標

保険会社との包括連携協定を活用し、策定と活用した事業展開の支援を行う

指標名	現状(平成30年度)	令和2年度目標値
部会・委員会間の意見交換機会の拡大	-	2回
意見活動の強化	-	1式
事業/支援内容の施策普及		別途指標を定める
会員事業所数	4,767	5,000
BCP策定数	-	10 事業所
SDGs策定数	-	5事業所

その他の施策

IT、IoT以外の人手不足対策 予算28,000千円(前年:14,080千円)

□多様な人材の活用

兼業・複業、また性別や年齢を問わず、幅広い人材活用のモデル事例を集積し周知を図る

□雇用・労働力の確保

求人企業と求職者との間を仲介するシステム/高松商工会議所無料職業紹介所を活用し、潜在的な求職者の掘り起こしを行う

小規模事業者の伴走型支援事業 予算6,000千円(前年:5,000千円)

□経営全般スキルの向上支援

専門家やバイヤーなどを講師とし、店舗運営・商品開発・財務など経営全般に関する事業者のスキルの向上を図る(GROW UPプログラム)。

地域産業振興と中心市街地・商店街の活性化 予算10,000千円(前年:8,000千円)

□回遊性向上による消費活動の促進

観光客や県民を中心市街地へ誘客し、商店街内を回遊させることで、消費拡大を図るイベント事業の実施(ぐるぐる商店街)

指標名	現状(平成30年度)	令和2年度目標値
【多様な人材の活用】モデル事例の収集	-	30件
【多様な人材の活用】モデル事例の周知件数	-	2,000件
【雇用・労働力の確保】求職者向説明会	-	12回/年
【雇用・労働力の確保】求職者登録者数	-	50人
【経営全般スキルの向上支援】新商品開発数	-	10商品
【経営全般スキルの向上支援】商談成立数	-	20件
【回遊性向上による消費活動の促進】イベント	3回/年	5回/年